

育成 モノづくり人材

Vol. 38

今年で創立119周年の広島県立広島工業高校は、広島県における工業教育の拠点校として充実した教師陣と一緒に力を入れている。県立広島工業に期待され

今年で創立119周年の広島県立広島工業高校は、広島県における工業教育の拠点校として充実した教師陣と一緒に力を入れている。県立広島工業に期待され

広島県立 広島工業高校



唐立校長

今年で創立119周年の広島県立広島工業高校は、広島県における工業教育の拠点校として充実した教師陣と一緒に力を入れている。県立広島工業に期待され

者などが講演するほか、県が卓越した技能者を認定する「ひろしまマイスター」の保持者を招き、指導を受ける。

【DATA】 ▷校長=唐立慎二氏 ▷所在地=広島市南区 ▷学科構成=機械科、電気科、建築科、土木科、化学工学科
▷生徒総数=939人 ▷主要設備=レーザー加工機、NC旋盤教育システム、TIG溶接機、3次元測定器など▷主な進路=マツダ、JFEスチール、トヨタ自動車、コベルコ建機、中国電力、JR西日本、広島県庁など

技能承継マイスター直伝

る役割は大きい。技能五輪の高校生版ともいえる「高校生も広島工業と福山工業高校のつくりコンテスト」。校。県下の工業高校から出場選手を集めてマスターによる作業の実演などが行われる。ダや三井重工業といふ地元大手の熟練技術者の。「生徒はマイス

その舞台となるのがターゲットの動きを食い入る会で旋盤職種に出場することになった。

技能承継マイスター直伝

本録さんが準優勝に輝いた。梶本さんは卒業後、マツダに入社。技能五輪の強化選手に選ばれて、10月の全国大会で

本録さんが准優勝に輝いた。梶本さんは卒業後、マツダに入社。技能五輪の強化選手に選ばれて、10月の全国大会で



広島大と連携した課題研究授業。生徒らは土砂災害のリスクを判定するため斜面の勾配を測定

この舞台となるのがターゲットの動きを食い入る会で旋盤職種に出場すことになった。

技能承継マイスター直伝

（唐立校長）という。また土木科では15年から、課題研究の授業に広島大学と連携した調査を基に、自然斜面の土砂災害のリスクがどれくらいあるかを評価するもの。14年8月の土砂災害で多数の死者を出した広島市では実践的な授業。次期の学習指導要領改訂を視野に入れて広島県が進め、自主的な問題解決能力を重んじる教育改革を認定するための試験の作成など運営の実績は全国大会で優勝。選手だけでなく全体の実験を広島県の工業系高等学校に大きく関わった。目されている。

12年に化学分析部門で15年見崎裕也さんが、15年「ひろしま」ものづくり校の生徒全員が受け「技能」という手先の技を磨くのも重要な

（広島・清水信彦
（金曜日に掲載）

モノづくりの理屈わかる人、心構えがある人を育てていきたい」
(唐立校長)という。
また土木科では15年から、課題研究の授業に広島大学と連携した調査を基に、自然斜面の土砂災害のリスクがどれくらいあるかを評価するもの。14年8月の土砂災害で多数の死者を出した広島市では実践的な授業。次期の学習指導要領改訂を視野に入れて広島県が進め、自主的な問題解

決能力を重んじる教育改革を認定するための試験の作成など運営の実績は全国大会で優勝。選手だけでなく全体の実験を広島県の工業系高等学校に大きく関わった。目されている。